

令和元年度門真市保健福祉センター内 障害者福祉センター指定管理者総合評価

【評価対象年度】：平成30年度

施設のサービス水準の視点 コメント

生活介護の新規の利用者は微増だが、利用者ニーズや急な要望に対応し、利用日の希望にも応えたことで一人あたりの利用日数が増えた。また、放課後等デイサービスにおいては通う日数を増やしたいというニーズに対して応えた事で、毎日の利用も増え長時間の対応等で満足してもらえた事は評価できる。自主事業においても例年と同様の行事を継続的に行い、特に「交流」に主体をおき、地域住民や利用者同士の交流を深められたことも評価できる。

収支状況 コメント

収入においては、生活介護の利用者の機能低下に伴い長期の入院等による欠席のため予算額を下回ったが、放課後等デイサービスについては新規利用児の増加により安定した利用人数を受け入れることができ、予算額を上回った。支出においては、研修の強化により予算額を上回っているが、純利益が出ていることから、収入状況は良好であると判断できる。

市による総合評価 コメント

当該指定管理者は、利用者やその家族のニーズ把握に努めるために、家族交流会やアンケート調査を実施しており、その家族交流会やアンケート調査で把握したニーズを踏まえ、利用者の増加及び利用者の満足度の向上に取り組んでいる。
また、障がい者の高齢化等により障がい程度の重度化に対応すべく、職員研修や個人情報保護のために行う月に1度の全体ミーティング等を通じ、職員同士の情報共有を行っている。今後においても職員体制を強化し、障がい児（者）が適切な支援を受けることが可能となる事業運営・展開を期待する。
その他に、地域の障がい児（者）施設では受入れが難しい医療的ケアが必要な障がい児（者）や重症心身障がい児（者）を率先して受入れており、今後もサービス向上や重症心身障がい児（者）の生活を守る役割を期待する。以上の理由により、概ね協定事項等の水準どおりに施設運営されていると判断した。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった